

神戸常盤短期大学紀要

投稿規定

1. 投稿者は、原則として本学教職員とする。ただし、共著者は他機関に属するものも認める。
2. 投稿論文の掲載ならびに、体裁については編集委員会がこれに当たる。
3. 原稿第1頁には、表題・著者名を和文および欧文（著者名の例……Tarou TOKIWA）で記す。論文については、本文に入る前に200語以内の英文によるSUMMARY（それに相当する邦訳添付）を記載する。投稿に際しては、原稿とフロッピーディスクを提出し、フロッピーディスクには著者名、用いた機種、ソフトウェアおよびフォーマット形式などの必要事項を明記する。原稿はA4用紙を使用する。
4. 本文における「はじめに」……「考按」「結論」「文献」などの見出しは、それぞれの欄の中央位に取る。「謝辞」は見出しをつけずに本文が終わったところで文献との間に前後1行あけて特別に表出する。
5. 原稿の長さは、本文400字詰原稿用紙30枚以内、表・図・写真計15以内とし、図表については、その掲載箇所を本文中に朱書により明示する。
6. 外国の地名、人名等は原語または英語名とし、最初の文字以外は小文字とする。術語については、それぞれ専門の用語集などによる。ゴシック又はイタリックを希望するものについては、その箇所を欄外に指定する。
7. 度量衡の単位および略字については、広く慣用されているものとする。その他の記号あるいは略字については、論文中にはじめて使用するとき、その語の次に括弧で括って明示する。
8. 文献の記載は下記による。

引用箇所の右肩にHenry,¹⁾⁶⁾透析法³⁾⁻⁵⁾などのごとく細字をもって表し、論文の文の最後の一括して文献の表題を付して引用順に掲げる。

人名は正しく記載し、全員を掲げる。欧文については次の記載例による。Henry, W. L., Clark, C. E. and Kato, Y:

雑誌などの略号は、雑誌所定のものがあればこれを用いる。

記載方法は下記の順とする。

雑誌……著者名：表題名、雑誌名、巻(号)、最初～最後頁、出版年。
単行本……著者名：書名(版)、最初～最後頁、発行所、発行地、発行年。
訳本……著者名：書名(版)、発行年。
訳者名：書名、最初～最後頁、発行所、発行地、発行年。
電子文献……著者名：タイトル名、アドレス、入手日、作成日(または更新日)
9. 以上の要領にかかわらず、各専門分野の慣用に従うことができる。
10. 掲載された論文の著作権はすべて神戸常盤短期大学に帰属する。
11. 原稿の校正は原則として著者があたる。
12. 別刷はその希望する部数を原稿第1頁右上に朱書する。ただし、30部を原則とする。
13. 紀要の発行は年刊を原則とし、原稿のメ切は毎年9月末とする。